

「子ども未来応援基金」の新設を要望！

令和5年6月市議会一般質問にて、市政会は「子ども未来応援基金」の新設を要望しました。

高野市長より「子どもや子育てを重点的に支援する基金を創設し、新たなニーズに対応していくことは重要」だと、力強いメッセージ(答弁)を頂きました。



また、3月の市議会定例会では「給食費の無償化」について市民から陳情がなされ、全ての議員が一致して賛成し、陳情は採択となりました。

市政会からも、改めて、子育て世代を応援し、現金給付よりも確実に子どものために使われる給食費の無償化を要望しました。



新副市長に聞く！ 府中のまちづくり



浅野 以千郎 氏

- Q** これまでの経歴をお聞かせください。
- A** 武蔵工業大学工学部卒。平成2年入都、同24年交通局大島保線管理所長、同30年都市整備局指導担当課長/工事調整担当課長、令和2年同区画整理課長。現在に至る。主にまちづくり事業に従事。
- Q** 府中市に来られて、まちにどんな印象を持たれましたか？
- A** 歴史・文化・芸術・スポーツが根づいた魅力的なまちだと感じました。また、くらやみ祭りをはじめとして、皆がまちへの愛着を持ち一丸となって結束する、人と人の繋がりが強く、懐が深いまちだと実感しています。
- Q** 府中市の都市整備全体に関して、どのように考えていますか？
- A** 緑地・住居・商業・工業地域が程よく散在しており、駅前再開発など拠点整備が進む一方、狭小道路が多く、防災面からも課題があります。それぞれの地区の特性を活かした道路整備やまちづくりが必要と考えます。将来の可能性を秘めた伸びしろあるまちだと思います。
- Q** 分倍河原駅の再開発について、どのように考えていますか？
- A** 風情ある街並みをこのまま残したい想いはありますが、人も建物も年を取り、このままではいられません。回遊性や安全面等に課題があり、駅改良や広場、東西・南北通路の整備などが必要です。まちづくりは市民協働で行うものであり、とことん話し合っって事業を進めたいと考えます。
- Q** 副市長としての今後の抱負をお聞かせください。
- A** 今までの経験を活かし、市庁内で横断的な仕事を進めるとともに、都庁や国への橋渡し役を担いたいです。市民の皆さんの満足度が向上するよう、また、皆さんに認めてもらえるよう粉骨砕身、職務に励む所存です。

新庁舎「おもや」完成！

現庁舎における耐震性の不足や施設・設備の老朽化、建物の狭あい化・分散化、バリアフリー対応などの課題を解消するため、新庁舎建設が進められています。

令和3年5月から着工した新庁舎の建設工事は建築資材の再発注による納期遅れに伴う工期の延伸がありましたが、本年5月に1期工事が完了し新庁舎「おもや」が落成しました。現在、8月14日(月)からの供用開始に向けて、備品の搬入、設置作業が進められています。7月15日(土)には関係者による落成記念式典が開催されるとともに、7月16日(日)には市民を対象とした内覧会が実施されます。



新庁舎は「市民に開かれ、人々の多彩な活動が生まれる」「災害時に庁舎機能を確保できる」「時代やニーズの変化に対応できる」「府中の魅力を象徴する、まち、自然と一体となった」庁舎を基本理念として設計されています。

なお、「おもや」への引っ越しは8月10日(木)から13日(日)までの4日間で行われますが、平日の8月10日(木)は臨時閉庁日となります。

臨時閉庁日に関する情報は、市のホームページをご確認ください。